



# りそな銀行アジアニュース

平成 20 年 9 月 2 日  
りそな銀行 法人ソリューション営業部 国際業務室

【マレーシア】

## 「2008 年第 2 四半期マレーシア経済報告」

8 月 29 日、マレーシア中央銀行バンク・ネガラ(BNM)は 2008 年第 2 四半期の経済成長率(GDP)を前年同期比でプラス 6.3%と発表した。内需の伸びは減速したものの、堅調な外需が成長を下支えした。08 年上半期は 6.7%の成長となり、07 年上半期の 5.6%を上回った。

同日、マレーシア財務省は、08-09年経済見通しを発表。08年の GDP 成長率は 5.7%と予想し、3月発表の政府予想の 5~6%の範囲内に収まる形となった。09年は 5.4%と予測している。一方、統計局が 8 月 22 日に発表した 7 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比で 8.5%上昇し、6 月 5 日にマレーシア政府が実施したガソリンなど燃料価格の大幅な値上げが大きく影響して、27 年ぶりの高い値となった。GDP の成長減速とインフレ圧力が、依然としてマレーシア経済にとって「双子の脅威」になっている。

### 【産業別 GDP 成長率】

産業	内容
農業	パームオイルの生産高が大幅に拡大(前年同期比 21.6%)したことが寄与し、農業全体では前年同期比でプラス 5.9%と堅調に推移した。
鉱業・採石業	原油の生産高は前年同期比プラス 6.8%と堅調に推移した。一方、天然ガスの生産高がマイナス 6.8%、コンデンセートの生産高がマイナス 8.7%となったことから、鉱業全体では前年同期比でマイナス 0.5%に落ち込んだ。
製造業	自動車産業の生産拡大で輸送設備部門がプラス 20.2%と高い伸びを示し、牽引役を果たしたことから、製造業全体では前年同期比でプラス 5.6%の成長となった。
建設業	建設原材料コストの上昇を受け、土木事業が減少したことから、前年同期比でプラス 3.9%と成長が鈍化した。
サービス業	卸売・小売部門はプラス 12.6%、運輸・倉庫部門はプラス 8.1%、通信部門はプラス 7.9%、金融・保険部門もプラス 7.5%と堅調な伸びを示したことから、サービス業全体ではプラス 7.6%となった。

### 【産業別実質 GDP 成長率の推移(四半期ベース、前年同期比)】 (単位:%)

業種	年度	2004年	2005年	2006年	2007年	2007年			2008年	
	通年	通年	通年	通年	通年	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全産業	6.8	5.0	5.9	6.3	5.7	6.7	7.3	7.1	6.3	
農業	4.7	2.6	5.2	2.2	-1.5	1.9	4.7	6.3	5.9	
鉱業	4.1	-1.3	-0.4	3.3	7.8	2.5	3.5	3.7	-0.5	
製造業	9.6	5.3	7.1	3.1	1.5	3.3	5.6	7.0*	5.6	
建設業	-0.9	-1.8	-0.5	4.6	4.8	4.7	4.7	5.3	3.9	
サービス業	6.4	6.7	7.2	9.7	9.4	10.5	9.3	7.9*	7.6	

\*前回発表の値を今回発表時にて修正

【出所:“Economic and Financial Developments in the Malaysian in the Second Quarter of 2008” Bank Negara Malaysia  
“National Product and Expenditure Accounts Second Quarter 2008” Department of Statistics, Malaysia】  
照会先:法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京)電話 03-5223-6672  
(大阪)電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。 \*禁無断転載